

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	4~7月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	利用者情報が掲載されたものは全職員が細心の注意をはらって取扱っている。 不要になったデータはシュレッダーで裁断している。	B		無				
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか、	報告書	A	消防計画に基づき、日々の点検を実施している。また、フレスコビル防災センター・平成ビルディング等関係者間で日頃より連絡を密に取り緊急時に備えている。 6月9日のフレスコ全体の地震火災総合訓練時においては起震車の乗車体験を通じ地震の危険性を認識した。 避難経路の再確認を行い、経路図を館内各施設に表示し、舞台打合せの際にも主催者にお渡しするなど利用者の安全を確保を心掛けた。 自販機設置会社とAED貸与を含む契約を締結し事務室前廊下に設置し、より迅速な緊急対応が可能となった。災害対応自販機を新設し、災害時の待機者・避難者への飲料水提供が可能となった。 交通安全研修に参加し、公用車の安全運転について再認識した。 夏休みこどもをとり巻く事故犯罪ゼロ作戦、実施中。	A		無				
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	A	月初に抽選会を実施。毎回抽選前に必ずルールをご説明し、利用案内、ホームページなどで情報を公開し、利用者に申込や利用時の約束事を理解いただいている。 節電に伴い4月～9月の講堂の夜間利用制限の連絡を利用者に迅速に行い全ての夜間区分の予約の取消入力を行った。併せて館内にご案内を表示し、抽選会でも毎月冒頭に説明を行いご理解いただいた。 また、舞台打ち合わせを早期に行えるようご案内を送付し、利用者との十分な意思疎通をはかり円滑な公演実施に向けて様々なアドバイスを行った。施設利用に関する引き継ぎを兼ね「行うよう「引き継ぎノート」への記入を徹底し、事務や受付のルール確認や変更については「連絡NOTE」で全ての職員が利用者に公平なサービスができるよう心掛けた。	A		無				
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか、	月例報告書	B	主ホール舞台機構保守点検を5/17・18、7/12、13に実施。交流ホール舞台機構保守点検を5/17に実施 主ホールの音響設備点検を7/5、6に実施 リハーサル室・第2練習室のピアノ調律を5/11、7/13に実施	B		無				
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B	コピー用紙の裏紙利用やゴミの分別を徹底するとともに日常的な節電・節水を心がけた。 また、コピー機やプリンターのトナーカートリッジはリサイクル可能な商品を購入した。	B		無				

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

評価区分 A:目標や計画を上回る成果があったもの B:目標や計画どおりの成果があったもの C:目標や計画を下回っており、努力が必要なもの

7月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容 と 成果目標・指標	確認資料等	4~7月						所管課確認			
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		時期	内容	対応状況	次年度対応
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無					
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	A	5月に館内電球を計90個間引きし、平成ビルディングとの協力で夏季電力ピークカット対策試験を試行した。7~9月の諸室夜間利用者に節電のため貸出中止の連絡をした。また、ホールについても月に7日程度節電のための貸出中止日を設定した。6月に館内照明のLED化工事を一部実施した。	A		無					
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	A	初めてご利用される方へきめ細かいサービスが提供できるよう注意事項をまとめ、新規利用者ステッカー・マグネットを作成した。全ての利用者にご意見を記入いただく用紙「利用者の声」をお渡しし全てのご意見にお返事をお返した。対応可能な意見については速やかに対応した。ピアノ・プロジェクターの設置や舞台面利用に伴うエアモニター・照明の設置など舞台職員の作成したマニュアルに沿ってOJTを行い、受付職員の舞台対応のレベルアップをはかった。生涯学習センターや市民センターなどビル内他施設の催物にいられたお客様が動線が分かりにくく文化会館でご案内することが非常に多いため、入口自動ドアにそれらの会場の案内表示を行なった。	A		無					
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B	4/16、30、5/7、15、21、29、6/3、19、7/9、18、24にロビーコンサート実施。事前に駅前看板ポスター掲示、ラララ・HP・会館催し物案内等で周知し、当日、図書館等南大沢総合センターの利用者へチラシ配布。特に5/15は62名、7/9は66名の観客があった。	B		無					
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・バブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	B	南大沢駅前掲示板及び館内に財団の自主事業・共催事業のポスターを掲示し、日々整理をしている。 「元氣な街」南大沢協力の会を通じ会館や自主事業の宣伝の協力をお願いした。	B		無					

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

11月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容 と 成果目標・指標	確認資料等	8~11月									
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認			
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応	
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	利用者情報が掲載されたものは全職員が細心の注意をはらって取扱っている。 不要になったデータはシュレッダーで裁断している。	B		無					
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか。	報告書	A	10月には普通救命講習・AED救命講座に新規・継続を含め3名が参加した。 消防計画に基づき、日々の点検を実施している。また、フレスコビル防災センター・平成ビルディング等関係者間で日頃より連絡を密に取り緊急時に備えている。11/7には防火シャッターの開閉装置の交換工事を行った。 また、11/17のフレスコ全体の自衛消防訓練時においては震度5の地震後の火災発生を想定し、利用者の迅速な避難誘導と安全確保の訓練を行なった。全職員が消火器使用及び煙体験のデモンストレーションに参加した。 11/24には職員の参集訓練を行い、有事の際に会館の迅速な体制が整えられるよう意識を高めた。 避難経路の再確認を行い、経路図を館内各施設に表示し、舞台打合せの際にも主催者にお渡しするなど利用者の安全を確保を心掛けた。 自販機設置会社とAED貸与を含む契約を締結し事務室前廊下に設置し、より迅速な緊急対応が可能となった。災害対応自販機を新設し、災害時の待機者・避難者への飲料水提供が可能となった。 交通安全研修に参加し、公用車の安全運転について再認識した。 夏休み子どもをとり巻く事故犯罪ゼロ作戦を実施した。	A		無					
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	A	月初に抽選会を実施。毎回抽選前に必ずルールをご説明し、利用案内、ホームページなどで情報を公開し、利用者に申込や利用時の約束事を理解いただいている。 節電に伴う施設利用の自粛の終了に伴い夜間利用制限の中止の連絡を利用者に迅速に行い全ての夜間区分の予約の確認を行なった。併せて館内にご案内を表示し、抽選会でも冒頭に説明を行いご理解いただいた。施設開放に伴う抽選会は10/20に実施し、初めて夜間区分の抽選が行われる対象月と過去に既に1度抽選が行われている複数対象月(多目的室・リハ室・練習室は2か月、会議室は5か月分)について全員体制で準備を行った。 また、舞台打ち合わせを早期に行えるよう案内を送付し、利用者ご十分な意思疎通をはかり円滑な公演実施に向けて様々なアドバイスを行った。施設利用に関する引き継ぎをきれなく行うよう「引き継ぎノート」への記入を徹底し、事務や受付のルール確認や変更については「連絡NOTE」で全ての職員が利用者へ公平なサービスができるよう心掛けた。	A	夜間利用制限による利用者への調整を迅速に行ったことや利用者に対する公平なサービスを提供するための引(継ぎ)ノートや連絡ノート等は変則勤務職場では有効であり今後も公平なサービスの提供に努めてほしい。	無					
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか。	月例報告書	B	主ホール舞台機構保守点検を9/7・8、11/15、16、映写機保守点検を8/24、ITV保守点検を9/9、照明設備点検を8/31、音響設備点検を11/18に実施 交流ホール舞台機構保守点検を8/9、11/22に実施、ITV保守点検を9/9、照明設備点検を8/30、音響設備点検を8/23に実施 リハーサル室音響設備点検を8/23、 リハーサル室・第2練習室のピアノ調律を9/7、11/11に実施	B		無					
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B	11/29地球温暖化対策推進委員会に参加。夏の節電状況の確認及びビル全体で温暖化対策として実施できることを確認した。コピー用紙の裏紙利用やゴミの分別を徹底するとともに日常的な節電・節水を心がけた。また、コピー機やプリンターのトナーカートリッジはリサイクル可能な商品を購入した。	B		無					

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

11月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	8~11月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	A	1. LED照明への交換 営業日にはできないため休館日に実施 第1期(6月)蛍光灯168個、即入荷可能な照明を交換/事務所、楽屋通路等 第2期(9月)LED蛍光灯363個、7月新発売の製品を含め即入荷困難な照明を交換/市民DC、主ホール・ホールA、交流ホール・ホールB、喫茶コーナー、第1及び第2練習室 各所に節電効果をポスターでアピール。 通路など多くの省電力LED蛍光灯(電力18W・電球型80W相当)は、効果が低いため対象外とした。 節電効果 LEDに交換した照明器具・・・531個 LEDに交換した照明器具の削減率約65% (7667.3÷22,085=0.347、交換前の電力量22,085W、交換後の電力量7,667.3W) 館全体から見た削減率約9% (4852÷55000=0.0882、平成22年度7-9月平均電気使用量55,000kwh、1ヶ月の削減量4,852kwh(22,085kwh×13h×26日×0.65)) 練習室:主ホール・喫茶スペース等の照度アップ 練習室照度アップ約2.75倍(照度計測平均 交換前147ルクス交換後404ルクス) 節電効果約66%削減・・・59個交換の節電(853.9W÷2495W=0.342) 主ホール・喫茶スペースとも電力量削減と同時に照度UPを実現。 2. 事務所の照明30本、通路トイレ等の照明約60個の間引消灯を引き続き継続。 3. 自販機の常時消灯・冷暖運転を分割して5時間停止、給湯器の温度設定を99度から90度に変更し、稼働時間を3分の2に縮小、その他職員全員がこまめなON/OFFを励行。	A	平成ビルより電力データをもらいどの部分の電力が多く使用しているかを把握し、効率良い節電(LED化)を実施したことで今まで暗かった練習室の照度が上がり、利用者から好評を頂いたことも含め、今後さらに節電への意識を高めてほしい。	無				
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	B	初めてご利用される方に注意事項をお渡しし、新規利用者を表すステッカー・マグネットを利用しきめ細かいサービスを提供した。 全ての利用者にご意見を記入いただく(用紙「利用者の声」)をお渡しし全てのご意見にお返事をお返した。対応可能なご意見については速やかに対応した。 新しく採用になった臨時職員などに向け、舞台職員により備品の原状復帰のための写真付きマニュアルを作成し、OJTを行い、備品の適切な管理と職員の意識の統一をはかった。 11/20には学園都市センターの舞台職員を迎え主ホールにて舞台研修を行い、欠員時の補充要員の育成を行った。 生涯学習センターや市民センターなどビル内他施設の催物に来られたお客様が動線が分かりやすく(文化会館でご案内することが非常に多いため、入口自動ドアにそれらの会場の案内表示を行なった。	B	無					
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B	8/6、13、21、9/11、17、10/2、19、11/12、23、27にロビーコンサート実施、事前に駅前看板ポスター掲示、ラララ・HP・会館催し物案内等で周知し、当日、図書館等南大沢総合センターの利用者へチラシ配布、特に9/17は76名、11/23は75名の観客があった。	B	無					
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	A	8月には会館を吹奏楽の練習でホールを利用する各学校団体に向けて自主事業(プラスアンサンプルの世界)のPRを行い、10/21には地域3中学校に出向き、事業PR及び会館PRを行った。 また、「元気な街、南大沢協力の会を通じ、芸術文化振興課と連携し、みずほ銀行南大沢支店に対し顧客向け・行員向け事業企画書を作成した。 9/8別所小学校の社会科見学において試験的に交流ホールにて参加型の見学を実施し好評だった。 11月にはHPのリニューアルを行ない、より詳しく施設の案内ができるようになった。 南大沢駅前掲示板及び館内に財団の自主事業・共催事業のポスターを掲示し、日々整理し、効果的なPRを心がけている。	A	無					

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

3月

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容 と 成果目標・指標	確認資料等	12~3月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	利用者情報が掲載されたものは全職員が細心の注意をはらって取扱い不要になったデータはシュレッダーで裁断している。 利用者情報についての問い合わせには、必ず利用者の許可を得た上で公開するよう心掛けた。	B		無				
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか、	報告書	A	消防計画に基づき、日々の点検を実施している。また、フレスコビル防災センター・平成ビルディング等関係者間で日頃より連絡を密に取り緊急時に備えている。 12/21消防設備点検実施、平成ビルによりスプリンクラーヘッドの点検作業を行なった。 1/30平成ビルによりシャッター設備の開閉装置交換及びスラスト修理。 1/17の八王子市の図上訓練に傍聴参加した。 朝ミーティング等で、有事の際の動きについて確認を行い会館の迅速な体制が整えられるよう意識を高めた。 避難経路の再確認を行い、舞台打合せの際にも主催者にお渡しするなど利用者の安全を確保を心掛けた。 自販機設置会社から借り受けたAEDの充電状態を適宜確認し緊急時に備えた。 1/24積雪凍結に対応。除雪作業を正面入口から歩道橋、搬入エリアから輪舞橋で実施し利用者の安全を確保した。 2/11夜間、来館者が公園からのアプローチ階段で転倒、救急車を呼び、平成ビル防災と共同に対応した。来館者の安全のため早急に照明設備の充実を要請。平成ビルにより速やかに増設された。	A		無				
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	B	月初に抽選会を実施。毎回抽選前に必ずルールをご説明し、利用案内、ホームページなどで情報を公開し、利用者に申込や利用時の約束事を理解いただいている。 HPのバージョンアップに伴い施設の「申し込み方法」、「舞台面利用について」、「器具料金表」など詳しい説明を加え、公平性を保つためにより解り易く、利用しやすい情報提供を心掛けた。 舞台打ち合わせを早期に行えるようご案内を送付し、利用者と十分な意思疎通をはかり円滑な公演実施に向けて様々なアドバイスを行った。施設利用に関する引き継ぎをもれなく行うよう「引き継ぎノート」への記入を徹底し、事務や受付のルール確認や変更については「連絡NOTE」で全ての職員が利用者に公平なサービスができるよう心掛けた。 オリンパスホール・富士通を交え24年度に実施する施設予約システムの改造についての会議を開催した。	A	ホームページ改修により更に解り易い情報提供をしていることや、引継ぎノートの利用により誰もが利用者の状況を把握していることが評価できる。	無				
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか、	月例報告書	B	12/6八王子市監査事務局により備品照合実施 主ホール舞台機構保守点検を1/11・12、3/6・7、照明設備点検を2/2、音響設備点検を12/6・7・8、ピアノ保守を2/8に実施 交流ホール舞台機構保守点検を2/16に実施、照明設備点検を2/3、音響設備点検を2/7、ピアノ保守を2/9に実施 リハーサル室、第2練習室のピアノ保守を1/11・3/7に実施 圧力容器検査を12/26・1/30・2/29・3/26に、圧力容器定期性能検査を1/26に実施	B		無				
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 L A S - E にそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B	12/1より八王子市に合わせ地球温暖化防止及び冬季省エネルギー対策推進を実施。 コピー用紙の裏紙利用やゴミの分別を徹底するとともに日常的な節電・節水を心がけた。また、コピー機やプリンターのトナーカートリッジはリサイクル可能な商品を購入した。事務室照明の半消灯、退館時の機器類オールオフの徹底を継続。	B	引き続き環境配慮行動の実施を励行すること、	無				

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

3月

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	12~3月								
						指定管理者の自己評価		所管課評価		改善プラン		所管課確認		
						評価区分	コメント	評価区分	コメント	改善・指摘事項の有無	時期	内容	対応状況	次年度対応
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	B	1.インターネットショップで価格を比較し、購入費削減に努めた。 2.事務所の照明30本、通路トイレ等の照明約60個の間引消灯を引き続き継続。 3.自販機の常時消灯・冷暖運転を分割して5時間停止の継続。給湯器の温度設定を99度から90度に変更し、稼働時間を3分の2に縮小を継続。その他職員全員がこまめなON/OFFを励行。	B		無				
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	A	専門技術向上・人材育成や効率的な舞台運営を目的とした24年度舞台一元化に向け、検討・調整・交渉実施。 利用者サービスに影響の無い範囲内で、可能な限り効率的なシフト調整を行い、研修を通じスキルアップをはかる環境を整えた。 初めてご利用される方に注意事項をお渡しし、新規利用者を表すステッカー・マグネットを利用しきめ細かいサービスを提供した。 全ての利用者にご意見を記入いただく(用紙「利用者の声」をお渡しし全てのご意見にお返事をお返した。対応可能な意見については速やかに対応した。 サービス介助士さらに1名取得、情報セキュリティ研修(2名)、リスクマネジメント研修(2名)、舞台技術研修(2名)、会計研修(2名)利用満足度調査の実施。 搬入口が分かりにくいとの声に対応し、平成ビル了解のもと搬入口看板を設置。 展示多目的室のパネル修繕を実施しパネルの移動が円滑になった。また、倉庫からの搬出が楽にできる軽量化機を購入した。 利用頻度の上がっているプロジェクターを新規購入し、複数の要望に応じられるようになった。 会議室の床に原状復帰を容易にできるように定位テープを貼った。 主ホール調光卓ワイアレスリモコンが修理不能のため職員が構築した迂回システムにより機能復帰した。 舞台袖幕を交換。 年度内・年度越えの「友の会」継続手続き及びチケット販売においても、正確な徴収・会計事務を行い財団の事業のバックアップ体制を整えた。 例月の決算事務に加え、年度末の決算事務についても迅速・正確に行うことができた。	A		無				
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B	ロビーコンサートは当期4ヶ月間に16回を実施。事前に駅前看板ポスター掲示、ラララ・HP・会館催し物案内等で周知し、当日、図書館等南大沢総合センターの利用者へチラシ配布。演奏ジャンルもピアノやフルートのほか、沖縄民謡、琴・尺八、二胡、ユーフォonium、合唱など多岐にわたり、観客数も50人を超える日が続いた。 市民公募による合唱団のワークショップを経てプロの声楽家と舞台を体験する市民参加によるコンサートを実施した。	B		無				
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・パブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	A	「元気な街」南大沢協力の会のみずほ銀行南大沢支店との地域連携事業として、当館施設での顧客説明会とコンサートをセットして提供する企画について24年度実施を決定した。(24年度4回実施予定) 24年度クラフ・フェスティバルに南大沢文化会館ミニコンサート出演を決定した。(ロビーコンサート出演者に出演依頼。) より降りやすく充実した会館情報・事業情報を発信するためにHPリニューアルを計画し繰り返し打合せを行った。 南大沢駅前掲示板及び館内に財団の自主事業・共催事業のポスターを掲示し、日々整理し、効果的なPRを心がけている。	A		無		PR活動による連携事業が開催が決まったことは評価できる。更なる活動や事業の継続を期待する。		

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

NO.	期末モニタリング項目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容 と 成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
1	-25	7.11.3	安全安心・危機管理	【情報セキュリティ対策】 個人情報保護の観点から、必要な措置及び管理体制の確立。	マニュアル 担当者へのヒアリング	B		
2	-27	7.11.3	安全安心・危機管理	【緊急対策】 防火、防災、防犯、救急等の緊急時対応の体制が適正であるか、	報告書	A	来館者(来場者)のことを考慮したことによる対応は評価でき、今後も実施して頂きたい。	
3	-11	7.11.3	適正な施設管理・運営	【施設利用の公平性】 施設の市民利用の公平性は保たれているか。 公平なサービス提供のためのマニュアルづくり(実施)	マニュアル 担当者へのヒアリング	A	23年度は夜間利用の制限があり、利用者へ連絡も迅速に対応し、トラブルなくできたことは評価できる。また、変則勤務職場であることから引継ぎも確実に実施できていることは評価できる。	
4	-8	7.11.3	安定した施設管理・運営	【委託の適正執行】 第三者への委託が適正になされ、その水準は適正であるか、	月例報告書	B		
5	-22	7.11.3	環境配慮	【エコ活動】 LAS-Eにそった環境配慮行動を実施する。	月例報告書	B		

# 23年度 期中モニタリング(事業評価)シート (別紙様式2)

施設名: 南大沢文化会館

NO.	期末モニタリング細目番号	評価月	評価項目	具体的な事業内容と成果目標・指標	確認資料等	所管課年間評価		備考
						評価区分	コメント	
6	-20	7.11.3	効率的な施設管理・運営	【コスト削減】 委託費、光熱水費、消耗品費・備品購入費の削減に取り組んでいるか。(特に、節電対策)	月例報告書 担当者へのヒアリング	B	節電や環境配慮に対する意識が高く、積極的に取り組んでいる。今後も更なる努力をすること。	
7	-13 -14	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用者満足度の向上】 利用者からの苦情やニーズに適切に対応し、改善策を講じているか。	月例報告書	A	利用者にとって安全安心な施設とするための提案や改善に積極的に取り組んでいる。今後も利用者の視点に立った業務改善をしていただきたい。	
8	-19	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 自主事業の活性化(参加人数の増加)への取組み	報告書	B		
9	-18	7.11.3	サービス向上・利用者増	【利用促進】 PR・バブリシティ活動の実施を具体的に記載する。	月例報告書	A	地域テナントや学校との協力によるホール利用の繋がる対応等は評価できる。今後もこのような活動は続けてほしい。	